

新潟県・越後長野温泉

みょうせんわらく らんけいそう

妙涼和楽 嵐溪荘

MYOUSENWARAKU RANKEISOU

〒955-0132 新潟県三条市長野1450
TEL: 0256-47-2211



新潟県の秘湯温泉 溪流の一軒宿



■ 宿データ

- 1泊2食料金 ¥15,000(税別) ~
- 一人泊 ¥16,000(税別) ~
- 1泊朝食 設定なし
- 素泊り 設定なし
- 宿泊時の貸切風呂料金 無料
- 日帰り 大人 ¥1,000 小人 ¥700
- 日帰り貸切温泉 設定なし

■ 温泉成分表

湯の色 無色透明

溶存物質 (ガス性のものを除く成分①+②+③の合計) 14,320 mg/kg

泉温 13.8°C pH値 7.7 (弱アルカリ性)

湧出量 48リットル/分

一人あたりの温泉利用量 (湧出量/収容人数) 約0.62リットル/人 ※収容人数77人

温泉の成分 (源泉1kg中に含有する分量)

陽イオン	ミカグラム	ミリモル	ミリパーセント	陰イオン	ミカグラム	ミリモル	ミリパーセント
リチウムイオン (Li ⁺)	0.6	0.09	0.04	フッ化物イオン (F ⁻)	0.2	0.01	0.00
ナトリウムイオン (Na ⁺)	4832	210.2	91.19	塩化物イオン (Cl ⁻)	7718	217.7	90.71
カリウムイオン (K ⁺)	59.7	1.53	0.66	臭化物イオン (Br ⁻)	28.1	0.35	0.15
アンモニウムイオン (NH ₄ ⁺)	0.1未満	-	-	ヨウ化物イオン (I ⁻)	2.3	0.02	0.01
マグネシウムイオン (Mg ²⁺)	145.2	11.95	5.18	硫酸イオン (HS ⁻)	0.1未満	-	-
カルシウムイオン (Ca ²⁺)	133.7	6.67	2.89	硫酸イオン (S ₂ ⁻)	0.1未満	-	-
ストロンチウムイオン (Sr ²⁺)	0.7	0.02	0.01	チオ硫酸イオン (S ₂ O ₃ ²⁻)	0.7	0.01	0.00
バリウムイオン (Ba ²⁺)	0.7	0.01	0.00	硫酸イオン (HSO ₄ ⁻)	5.0未満	-	-
アルミニウムイオン (Al ³⁺)	0.1未満	-	-	硫酸イオン (SO ₄ ²⁻)	19.0	0.40	0.17
マンガンイオン (Mn ²⁺)	0.6	0.02	0.01	炭酸水素イオン (HCO ₃ ⁻)	1303	21.35	8.90
鉄(II)イオン (Fe ²⁺)	0.1	0.00	0.00	炭酸イオン (CO ₃ ²⁻)	5.0	0.17	0.07
鉄(III)イオン (Fe ³⁺)	0.1未満	-	-				
銅イオン (Cu ²⁺)	0.1未満	-	-				
計①	5173	230.5	100.00	計②	9076	240.0	100.00
非溶解成分		ミカグラム	ミリモル	溶存ガス成分		ミカグラム	ミリモル
メタケイ酸 (H ₂ SiO ₃)	39.10	0.50		遊離二酸化炭素 (CO ₂)	43.6	0.99	
メタホウ酸 (HBO ₂)	31.30	0.71		遊離硫化水素 (H ₂ S)	0.1未満	-	
メタ亜硫酸 (HAsO ₂)	0.1未満	-					
計③	70.4	1.21		計④	43.6	0.99	

その他微量成分

カドミウム、総水銀、鉛、総ヒ素、検出せず

※適応症・禁忌症に関して、平成26年7月改正の「鉱泉分析法指針」に準拠しています。宿よりデータを提供して頂きました。

この泉質ならではの浴用の適応症 (平成26年7月1日改定)

きりきず、末梢循環障害、冷え性、うつ状態、皮膚乾燥症

浴用の一般的適応症 (平成26年7月1日改定)

筋肉若しくは関節の慢性的な痛み又はこわばり (関節リウマチ、変形性関節症、腰痛症、神経痛、五十肩、打撲、捻挫などの慢性期)、運動麻痺における筋肉のこわばり、冷え性、末梢循環障害、胃腸機能の低下 (胃がもたれる、腸にガスがたまると)、軽症高血圧、耐糖能異常 (糖尿病)、軽度高コレステロール血症、軽い喘息又は肺気腫、痔の痛み、自律神経不安定症、ストレスによる諸症状 (睡眠障害、うつ状態など)、病後回復期、疲労回復、健康増進

浴用の一般的禁忌症 (平成26年7月改定)

病気の活動期 (特に熱のあるとき)、活動性の結核、進行した悪性腫瘍又は高度の貧血など身体衰弱の著しい場合、少し動くと息苦しくなるような重い心臓又は肺の病気、むくみのあるような重い腎臓の病気、消化管出血、目に見える出血があるとき、慢性の病気の急性増悪期

飲用の適応症

不可 ※保健所に飲用申請を不提出

分析日 (上記の温泉成分表は下記機関の調査データより引用)

平成26年11月18日 (一般財団法人 新潟県環境衛生中央研究所)

温泉の言い伝え/その他

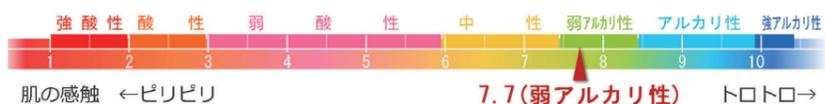
伝承による効能 薬として「皮膚病、切り傷、冷え症、婦人病、神経痛、肩こり、病後回復期に効く」として販売されていた

この湯に浸かった歴史上の人物 漢和辞典編纂者・諸橋轍次 (1883 ~ 1982年)

この湯に浸かった著名人 三谷幸喜、西田敏行、渡辺謙、小林聡美 (NHK開局50周年記念ドラマ「川、いつか海へ」のロケ地として嵐溪荘が使用された)

■ 水素イオン濃度 (pHペーパー)

一言コメント 肌にまとわりつくような感触



泉質名: ナトリウム-塩化物冷鉱泉 (高張性 弱アルカリ性 冷鉱泉)

源泉率: 100%

湯の入替: 1日1回

源泉の湧出状況: 2つの動力揚湯 (ボーリングによって汲み上げる) による源泉を混合して使用

引湯方法: 自家源泉。敷地内の貯湯槽にて管理。
源泉から湯舟までの距離: 100m以内 (敷地内に源泉が湧出)

温度の調整方法: 源泉温度が低いため、加温した源泉を浴槽に注入

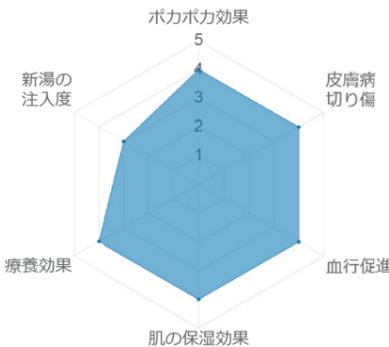
飲泉: 不可 ※保健所に飲用申請を不提出

■ 源泉の利用状況

加水なし	加温なし	消毒なし	循環なし	入浴剤なし
○	×	○	×	○

※源泉温度が低いため加温している
※温度管理と温泉資源保護の為、循環している

■ 温泉力 チャート (5段階評価)



◆ こんな人に最適

- ・ 切り傷や火傷などの皮膚表面のトラブルにお悩みの方
- ・ 冷え性にお悩みの方
- ・ 乾燥肌の方

■ 美肌の湯 4要素

該当数 2

※弱アルカリ性であること、泉質名に現れていないが炭酸水素イオンを多量に含むため該当数2

肌の美白効果	肌のなめらか効果	肌の蘇生効果	肌のつるすべ効果
硫黄泉	炭酸水素塩泉	硫酸塩泉	(弱)アルカリ性

◆ 温泉レポート (文・温泉&宿コンシェルジュ 大竹 仁一 / 温泉&旅 倶楽部事務局長 大竹 央将)

「嵐溪荘」の温泉は、日本国内の数ある温泉と比べても、稀有な温泉と言える。その理由のひとつは、その溶存物質の量。泉質表を見ると、ナトリウムイオンと塩化物イオンの量がケタ違いに多い。そして溶存物質は、なんと14g (14,000mg) / kgを超える！温泉の定義の中で、溶存物質が1g (1,000mg) / kg以上が条件となるが、その基準値の14倍は有るという事。まさに「濃い」温泉。その裏付けとなるのが、温泉を分類する指標として存在する浸透圧。これを簡単に説明すると、カラダの中に温泉の成分が浸透しやすいかどうかという事。浸透圧には、低張性、等張性、高張性と分けられる。人間の細胞液とほぼ濃さのものを等張性と呼び、薄いものを低張性、濃いものを高張性と呼ぶ。つまり、溶存物質の総量が1kgあたり8g未満を低張性と言い、8g以上~10g未満/kgは等張性、10g/kg以上を高張性となるわけ。

私たちのカラダの中の細胞液よりも濃い温泉は体内に浸み込みやすく、薄い温泉は浸透するのに時間がかかる。「嵐溪荘」の温泉は、まさに高張性に分類される貴重な濃い温泉であり、療養効果も高いと言えるだろう。例えるなら、疲れたカラダに点滴を打つが如く、効くのが高張性温泉と表現する人もいるぐらいだ。次に泉温を見ると、「嵐溪荘」の源泉は13.8°Cと低め。25°C未満は「冷鉱泉」と分類される。しかしながら、加温することにより、入浴に適した温度にしているが、ほとんど温泉成分には影響しないので、ご心配なく。そして液性で分類すると、pH7.7の弱アルカリ性。

弱アルカリ性の温泉は、皮膚の古い角質層を溶かしてくれる。それにより、ツルツルすべすべとを感じるわけだ。いわゆる美肌の湯の代表格と言われる泉質となっている。

また、泉質名には現れていないが炭酸水素イオンが1,303mg / 1kgと、大量に含まれている事も注目したい。炭酸水素イオンは、ナトリウムイオンと結びつき、旧泉質名では重曹泉と言われる。重曹泉は皮膚表面の古くなった角質を乳化して、石鹸のように落とす作用がある。

弱アルカリ性成分と炭酸水素イオン成分、どちらも湯上がり後には肌をツルツルに導く。すなわち、ダブル美肌の湯だと言えるだろう。ただし美肌の湯にも落とし穴があるので注意が必要。弱アルカリ性成分と炭酸水素イオン成分、これらは肌を一時的に乾燥しやすい状態にしてしまう恐れがあるのだ。この場合、一般的には湯上がり後に保湿剤を塗ることをオススメするのだが、「嵐溪荘」の源泉には大量の塩分が含まれているのを忘れてはいけない。塩分は湯上がり後に肌をパックして、肌乾燥を防ぐ効果がある。肌表面をキレイにして美肌してくれるだけでなく、湯上りのアフターフォローまでしてくれる。「嵐溪荘」の源泉はまさに一石二鳥なのだ。

また、温泉資源の保護のため「嵐溪荘」では、新しい源泉を注ぎつつ、浴槽内の源泉を循環している。「加温・循環すると温泉成分が失われる」と心配になるかもしれないが、「嵐溪荘」の源泉に含まれる成分は加温・循環によって失われにくいので、安心していただきたい。また、一般的に循環している温泉は塩素などを使用して消毒されるが、この宿では定期的に行われるレジオネラ菌を除いて、塩素による消毒処理を行っていない。さらにこの源泉は、高濃度の塩分のおかげで殺菌作用が強いので、そもそも消毒処理が必要ないのだ。

「嵐溪荘」の泉質名は「ナトリウム-塩化物冷鉱泉」。

塩化物泉は「熱の湯」と言われる。源泉中の塩分が湯上りの汗腺を塞ぐため、発汗による体温低下を防ぐのだ。冷え性は他の泉質にも適応症として認められるが、塩化物泉は特に冷え性にも効果があるといえるだろう。

また、塩化物泉は「傷の湯」とも言われる。海に入ったときにキズが沁みだした経験はないだろうか。これは塩分に殺菌作用があるためである。皮膚表面の傷全体に作用するため、切り傷や火傷など広く肌のトラブルに効果がある。とはいえ海水ほど塩分濃度は高くないので強く沁み込むことはないのでご安心を。

「嵐溪荘」の源泉は、昭和初期には実際に薬として販売されていた。まさに「薬泉」で、創業当時 (大正末期) から源泉の効能の高さに人々は驚いていたことだろう。

またこの宿では源泉を使用したお粥やほうじ茶をいただくことができ、これらが大変美味しい。人間には美味しいと感じる塩分濃度があって、こちらの源泉はちょうどこれに該当するからだ。美味しいだけでなく、食塩泉を飲用した場合、適応症として萎縮性胃炎、便秘が認められる。「嵐溪荘」で体の外と内、両方からキレイになっていただきたい。